

Before >>

ご利用前の経緯

平成30年11月に、右被殻出血を発症。その後遺症の左上下肢の麻痺により、日常生活動作が困難になりました。リハビリ病院を退院後、訪問リハビリにより改善が見られましたが、自宅トイレにて転倒したことをきっかけに、さらに生活動作が困難になってしまいました。「以前のように動けるようになりたい」という希望があり、ケアマネジャーさんから運動ができるnagomi プラスをご紹介いただきました。

生活状況と課題

- トイレ動作を1人で安全に行う事が難しい。
- 排泄時にはご家族の支援が必要。

After >>

喜びの声!

立った状態で、1人でズボンを下せるようになりました。

K様 74歳(女性) / 要介護3

右被殻出血、陈旧性第2胸椎圧迫骨折  
令和2年9月より  
東京都nagomiプラス石神井店を週1回利用

ご家族の声

転倒後、ほぼ1日家で横になっていることが多かったのですが、nagomiプラスさんに通所することで、定期的に運動(外出)する機会ができ、足が上がりやすくなったと思います。  
今後も継続して母らしい生活を送って欲しいと思います。



今後の目標

車椅子を使用せず、トイレまで杖で歩行し、排泄までの一連の動作を1人でできるようになりたい。

生活目標

自宅でのトイレ動作を1人で安全に行えるようになる。

目標達成に向けた課題

左上下肢麻痺の為、バランスを崩しやすく立位保持が難しい。

K様に取り組まれた運動をご紹介!! (訓練風景を公開しています!!)

①身体機能訓練

トイレ動作: 立位で体幹を屈曲する



立位で上半身を動かしてもバランスを崩さないよう、腰部・下肢筋力のほぐしや体幹の筋力を高める運動を行っています。  
トイレ動作に必要な立位保持に重点を置き、体幹屈曲の動作を繰り返し練習しています。  
左右のバランスや左下肢(患側)に荷重することを意識しながら動作を行って頂くよう声をかけています。



訓練の動画はこちら

②実践訓練

着脱動作



店舗で用意した大きめのズボンをご自身のズボンの上から重ね穿きし、着脱動作の練習をしています。  
動画ではスタッフが体を支え、着脱の動作を行って頂いていますが、現在では1人でズボンを下ろすことができています。  
今後は、さらに左下肢への荷重や立位バランスの意識を高められるよう支援していきます。



訓練の動画はこちら